

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



## 日の出南団地町内会の皆様

グラウンドゴルフを通じて、交流を深めています。

### 内 容

### CONTENTS

■ 第3回定例会の概要	2～3
■ 一般質問	4～7
■ 委員会審査のあらまし	8～9
■ 先進地に学ぶ	10～11
■ 市政懇談会での意見・回答	12～13
■ 市民の声、編集後記 ほか	14

# 第3回定例会

第3回定例会は、8月28日から9月18日までの22日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告、市当局提出の人事案2件を同意しました。

本会議4日目に、市当局提出の条例案3件、単行案7件、補正予算案3件、平成29年度市立大曲病院事業会計、上水道事業会計および簡易水道事業会計決算の認定についての3件を、それぞれ原案可決・認定したほか、請願2件をそれぞれ採択、趣旨採択、陳情4件のうち2件を採択、1件を不採択とし、意見書案1件を原案可決しました。

平成29年度一般会計・特別会計決算18件については閉会中の継続審査とし、11月に決算特別委員会で審査することとしました。

一般質問は、2日間にわたって7人の議員が市政全般について、市当局に質問しました。



本会議第2日目 一般質問

## 人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

【全会一致で同意】

伊藤幸夫氏（内小友：再推薦）  
中沢宏哉氏（神宮寺：再推薦）

## 条例案

▼大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

神岡地域の笹倉公園に設置しているスカイサイクル施設が経年劣化したことに伴い廃止するものです。

## 単行案

▼大仙美郷環境事業組合の解散について

【全会一致で可決】

▼大仙美郷環境事業組合規約の一部変更について

【全会一致で可決】

▼大仙美郷環境事業組合の解散に伴う財産処分について

【全会一致で可決】

▼大曲仙北広域市町村圏組合の共同処理する事務の変更及び大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について

【全会一致で可決】

大仙美郷環境事業組合および仙北市で行っている一般廃棄物処理施設の管理運営について、平成31年度か

ら大曲仙北広域市町村圏組合で行うことにより、平成31年3月31日をもって大仙美郷環境事業組合が解散することに伴い議決を行ったものです。

## 補正予算

▼平成30年度大仙市一般会計補正予算（第4号）

【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億7528万5千円を追加し、補正後の総額は460億7893万2千円となりました。

### 主なもの

- ・「ふるさと納税制度」関連経費（寄付窓口の拡大やインターネット広告等に係る経費）

3415万5千円

- ・上淀川エコ対策コミュニティセンター管理費（空調設備改修工事費）

369万8千円

- ・創業支援事業費（新規創業者に対する助成金）

420万円

- ・道路橋りょう災害復旧事業費（大雨で被災した市道の復旧経費）

2億1052万4千円

- ・河川災害復旧事業費（大雨で被災した河川の復旧経費）

1690万9千円

第3回定例会の概要

・林業施設災害復旧事業費（大雨災害で被災した林道の復旧経費）  
1122万2千円

・指定文化財等保存整備事業費（鈴木空如作品の取得経費）  
301万1千円

▼平成30年度大仙市簡易水道事業会計補正予算（第1号）  
【全会一致で可決】

・大沢川樋門建設工事に伴う配水管布設替経費で950万4千円などです。

請願

▼西・沼ノ上・川原集落会館建設の助成金に関する請願書  
【全会一致で採択】

▼中仙公民館鷺野分館体育館の改築に関する請願  
【趣旨採択】

陳情

▼臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書【継続審査】

▼地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める陳情書【全会一致で採択】

▼二ツ屋原野線の道路改良についての陳情【全会一致で採択】

▼消費税10%への引き上げ反対を国に求める意見書採択の陳情【不採択】

第3回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	議決結果	だいせんの会					大地の会					新政会					共産党		市民クラブ		公明党		創生会		地域生会				
		高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村誠	児玉裕一	高橋徳久	石塚柏	鎌田正	高橋幸晴	大山利吉	佐藤育男	後藤健	金谷道男	橋本五郎	小松米治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木隆	小山緑郎	佐藤文子	藤田和久	佐藤隆盛	三浦常男	秩父博樹	梶野利恵	富岡喜芳	本間輝男	小笠原昌作
陳情第12号 消費税10%への引き上げ反対を国に求める意見書採択の陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●

賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

第3回臨時会

第3回臨時会が7月17日に招集され、市当局提出の補正予算案1件を原案可決しました。

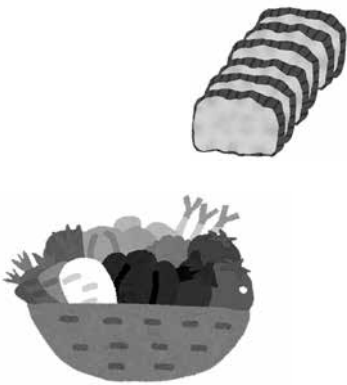
▼平成30年度大仙市一般会計補正予算（第3号）  
【全会一致で可決】

歳入歳出の総額にそれぞれ248万4千円を追加し、補正後の総額は457億364万7千円となりました。

主なもの

・花火伝統文化継承資料館等整備事業費（藤城清治氏の作品「大曲の花火」の取得に係る経費）  
1005万2千円

・いぶりがっこ産地化事業費（いぶりがっこ産地化に向けた原料大根の供給体制づくりや調査研究、販売拡大に係る経費）  
764万6千円



第4回臨時会

第4回臨時会が8月6日に招集され、市当局提出の条例案1件、単行案1件を原案可決しました。

▼大曲中学校水泳プール改築（建築）工事請負契約の締結について  
【全会一致で可決】

2億520万円で佐々木組・荒屋舗建設特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結することを議決しました。



藤城清治氏の作品「大曲の花火」はなび・アムに常設展示



藤田 和久 議員（日本共産党）

Q 児童生徒の  
熱中症対策は十分か

A 学校施設長寿命化計画の  
中で検討したい

**質問** 本市の小中学校の空調設備の設置状況および、熱中症対策としての保健指導は。

**教育長** エアコンの設置は保健室、パソコン室、職員室に設置のほか、一部の特別教室に設置している。普通教室への設置率は1.7%となっている。熱中症対策としては、規則正しい生活リズム、直射日光下での運動制限、水分の補給など指導に努めている。

**質問** 普通教室への空調設備（エアコン）の設置を検討できないか伺う。

**教育長** 必要性は十分認識しているので、策定中の「学校施設長寿命化計画」の中で検討してまいりたい。

#### ◆消防団活動の充実を

**質問** 消防団員の加入促進にもっと力を入れて取り組めないか伺う。



**市長** 消防団員の確保は市としても喫緊の課題である。これまでの取り組みをさらに強化しながら、議員ご提案の成人式などの行事・イベントで確保に努めてまいりたい。

**質問** 消防団員の水防活動などに必要な雨ガッパを支給できないか伺う。

**市長** 消防団員の水防活動への従事が増えていることから、雨具の支給を検討してまいりたい。

**質問** 分団費の状況を調査していただき、必要によっては分団手当てを増やしてもらうことはできないか。

**市長** 年会費や使い道などはそれぞれの分団で異なっていることから、団員の理解が得られるような運用をお願いしてきた経緯がある。今後も引き続き現状の把握に努めてまいりたいと考えている。



小山 緑郎 議員（新政会）

Q 今後の豪雨河川災害への  
対応は

A 市内15河川18箇所に  
水位計増設を行う

**質問** 今後の河川災害に強いまちづくりについて伺う。

**西山副市長** 県からは、県管理河川の堤防のかさ上げや浚渫、河川敷内の伐木等について、流下能力や周辺への影響等を勘案し実施していくと回答をいただいている。さらに今年度中に市内15河川、18カ所に水位計の増設を行い、平成31年度末までに7河川の浸水想定区域の見直しを行う計画であると伺っている。今後も国・県へ河川整備について要望を継続していく。

#### ◆今後の農業政策は

**質問** 稲作農家の所得向上、今後の支援体制、冬期間の農業に対する考えを伺う。

**市長** コスト低減対策や米価格安定対策、市単独事業の継続、JA等集荷業者と連携を強め、主食用米、

加工用米、飼料用米等用途別の需要に応じた米生産を推進していく。また、冬期作物栽培施設、6次産業加工施設の支援、いぶりがっこ産地化事業の大根等に対する助成など、周年農業のハード、ソフト両面で着実に定着するよう支援推進していく。

#### ◆保育士・介護士の処遇改善が必要では

**質問** 市内保育労働の実態、介護人材の今後の対応、保育士・介護士の処遇改善が必要と思うがいかがか。

**佐藤副市長** 保育現場の労働環境は重要であり、今後、保育労働実態調査を実施しながら検証を進めていく。また、介護人材については2025年には若年層の減少により、介護人材の不足が見込まれる。処遇改善には、3歳未満児年度途中受け入れ時の保育士確保に苦慮しており、今後も保育士・介護士の確保、育成、定着と処遇改善を図るため、財政措置の拡充、地域の実情に合った実効ある対策を重点提言項目として国に要望していく。





秩父 博樹 議員 (公明党)

**Q** 建築確認申請等受付件数の減少による影響は

**A** 財政に影響するが、国の施策である民間開放が着実に進行している

**質問** 当市の建築確認申請および完了検査受付件数の減少による手数料の減少はどのぐらいか。それにより、どのような影響があるのか。

**建設部長** 建築確認申請の受付件数は平成24年度は312件に対し昨年度は88件、手数料収入は平成24年度は506万7千円に対し昨年度は131万9千円となっている。また、完了検査申請の受付件数は、平成24年度は282件に対し昨年度は85件、手数料収入は平成24年度は563万4千円に対し昨年度は158万1千円となっており、建築確認申請手数料と完了検査申請手数料を合わせると、780万1千円の手数料が減少している。

手数料収入の減少は少なからず市の財政に影響するが、国の施策である建築確認検査業務の民間開放が着実に進行している影響であると認識しており、この傾向は今後も続く予想している。

**質問** 民間機関が建築確認を下した報告を当市でチェックした結果、内容に不備があったケースはこれまで確認されているか。確認されていた場合、どのようなケースであったのか、併せて、その再確認および内容の修正に掛かる手数料等を、民間機関から徴収することはできないか。

**建設部長** 報告書に不備があった場合の対応については、建築基準法の適合性の有無を求めるまで至った事例はなく、軽易な不備であったので、民間機関に対しては口頭で不備の内容を伝えている。また、民間機関からの報告チェックは建築基準法に定められた限定特定行政庁の業務であり、民間機関から市が手数料を徴収する性質のものではない。今後も建築物の安全と衛生的な環境を守り、安心できるまちづくりに貢献していきたい。

このほか、快適で住みやすい市民協働のまちづくりの推進について質問しました。



挽野 利恵 議員 (公明党)

**Q** 暑い夏を過ごす子どもたちのための取り組みは

**A** 各校において状況に合わせて、対策を実施している

**質問** 文部科学省は今年、小中学校の望ましい室内温度の基準を、「30度以下」から「28度以下」に引き下げた。大仙市内の小中学校の室温管理はどのようになっているか。暑い夏を過ごす子どもたちのために、どのような取り組みが必要か。

**教育長** 教室の温度管理については、教室や校内各所に温度計、湿度計、熱中症モニター等のいずれかを設置し、随時確認しながら熱中症予防に役立っている。ある学校では校舎3階の教室で朝9時の測定で30度を超えた日が、7月には4日あったと聞いている。

今後、全ての普通教室の室温測定と記録をお願いし、エアコン設置のための状況把握に役立てたい。エアコン設置は熱中症予防に大きな効果があると考えているが、費用も時間もかかることから、国の予算措置の動向を踏まえ、計画的に整備してまいりたい。

熱中症を出さないための取り組みについては、各校において教室の状況に合わせて、授業の活動内容や時間の変更、比較的涼しい特別教室等への移動やエアコンのある教室のローテーションによる使用など、工夫した熱中症対策も実施されている。

エアコン設置には期間を要することから、これまで行われてきた対策を継続するとともに、直射日光を軽減できるグリーンカーテン等の取り組みをお願いする。また、暑さのため授業に著しい支障があると判断された場合には、他の自然災害の対応と同様、校長の判断により午前中を下校させるなどの措置ができるよう指導していく。





小笠原 昌作 議員（地域住民の会）

**Q** 農家の担い手就農確保を

**A** 幅広い農業ファン獲得に  
創意工夫を重ねる

**質問** 大仙市農業は秋田県の基幹産業一丁目一番地。子どもから年代に関係なく、農業の魅力を大いにアピールし農業ファンを結集させたイベントの開催を検討してはいかがか。

**市長** 各農業関係団体において、児童・生徒及び若者に向けた交流事業や農業の魅力発信に向けた取り組みを紹介し、広く交流が図られている。秋の稔りフェアについては、産業と文化に触れ合う機会として、農業従事者以外の皆さまからも、農業の魅力に触れ、楽しんでいただける内容となっている。今後もイベントの内容について、より一層の拡大・充実に努め、幅広い年齢層の農業ファン獲得につながるイベントとして定着できるよう、創意工夫を重ねていく。

#### ◆地域活性化と人材育成について

**質問** 平成27年度から次世代地域リーダー育成セミナーを実施されているが、今後の大仙市地域全体の活性化のためにも人材育成の役割は大きい。地域における移住者の受け皿も大切であり、これらの取り組みについてどのような成果を得て、実行されているか伺う。

**企画部長** 次世代地域リーダー育成セミナーは、これまで計3回開催し、延べ98名参加されており、各団体の気運の盛り上がりや地域に根ざした新たな活動のきっかけづくりにつながり、団体としての活動の継続性に寄与しているものと考えられる。今年度は県で定住サポーター養成研修会を開催する予定であることから、今後、若い世代に定住移住に関する取り組みも行っていただきたいと考え、同セミナーとして参加者を募ってまいりたい。市では、これを機に参加団体の方々に、移住者が地域に溶け込みやすい環境づくりや地元に関わり方などを学んでいただき、地域における移住者の受け皿としての役割を担うことで、さらなる活動の拡充につなげていただきたいと考えている。今後も引き続き、未来を担う若い世代が行う活動を積極的に応援していく。



渡邊 秀俊 議員（新政会）

**Q** 経済的理由で手がつけられない空き家の対策は

**A** 補助制度の見直しや、支援制度の整備を  
してまいりたい

**質問** 経済的な理由で放置されている空き家に手を差し伸べるべきでは。

**市長** 経済的な理由によって解体に着手することができない所有者等に対しては、所得や資産状況に応じた対策ができるよう現状の空き家解体補助制度の見直しについて検討してまいりたい。また、放置すれば保安上危険な状態になる空き家について、地元自治会等がその所有者の了解を得て自主的に解体をする場合、対象経費を補助する他市の支援事業を参考に支援制度を整備してまいりたい。

#### ◆学校教育について

**質問** 教職員の労働時間削減のための方策は。

**教育長** 市教育委員会に関する報告書類は随時見直し、負担軽減に努めている。昨年度、業務改善推進連絡協議会を立ち上げており、今後も学校全般の業

務改善を目指し、教職員の労働時間削減に取り組んでいく。

**質問** 教科書採択の現状は。

**教育長** 県教育委員会で調査研究し、選定資料としてまとめたものを大仙仙北地区協議会で独自に教科用図書の調査研究を行った上で市教育委員会に答申している。本市ではそれを受け、教育委員会で審議し採択を決定している。

**質問** 学校統合の指針について伺う。

**教育長** 平成19年に策定した指針に基づいて学校規模の適正化を図っているところであり、統合については、地域住民・保護者の理解を最優先とし、地元の意向を確認しながら進めてまいりたい。





佐藤 文子 議員 (日本共産党)

**Q** 公共交通空白地の高齢者世帯にタクシー助成券の発行を

**A** 高齢者支援策として関係部局と協議を進める

**質問** 公共交通空白地の町内在住や停留所から遠い高齢者世帯に、タクシー利用助成券を発行してはどうか。

**佐藤副市長** 現在高齢者のみを対象にした制度はなく、停留所まで行けない高齢者も増加していることから、高齢者支援策の一つとして関係部局と協議していく。

**質問** 地域交通対策の充実について、循環バスの運行コースに、要望の強い大曲駅東地区や丸子町内を加え拡充してはどうか。

**佐藤副市長** 大曲駅東地区については、地域住民のニーズ調査を進め、既存交通網への影響にも配慮しつつ実施に向けて検討していく。なお、丸子町については、高齢化による交通手段をお持ちでない市民への対応として調査研究していく。

◆介護予防・日常生活支援総合事業について

**質問** 介護予防・日常生活支援総合事業について、要支援者のサービス利用状況と総合事業実施前と比較しどうなっているか。

**健康福祉部長** 平成30年3月の実績は、訪問型サービスAが33件、通所型サービスAが113件、実施前相当の訪問型サービスは239件、通所型サービスは499件となっており、総合事業実施前に比較し、訪問介護は10件、通所介護は141件それぞれ増となっており、要支援者へのサービスは低下しておらず、要介護要支援に至らない元気な高齢者を増やす体制づくりが図られていると考えている。

**質問** 市が実施する介護予防生活支援サービスの受け入れ体制は進んでいるのか。

**健康福祉部長** 訪問型サービスAは、エプロンサービスとしてシルバー人材センターのみであったが、今年6月からJ A秋田おばこが参入し、利用者は人材センター19人、J A秋田おばこが2人。通所型サービスAは実施当初から、県南ふくし会1事業所で利用者は92人である。

## 市議会議員研修会 ～市議会のあり方を考えよう～

議員の政策形成及び立案能力向上を図るため、9月18日、「適正な議員定数・議員報酬の算出手法を考える」と題して(株)地方議会総合研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き、市民の方も参加して研修会を開催しました。

市議会では、昨年9月の改選を経て、議会基本条例に基づく議員定数・議員報酬の検討を行っておりますが、この研修会を機にさらなる活発な議論が期待されます。



## 企画産業常任委員会

補正予算案1件、請願1件を審査しました。

### ●ふるさと納税の返礼品

【問】新たに用意された「プライベート花火」とは。

【答】花火曆に載っている大会の中から、寄付者が希望する大会で「あなただけの花火」を打ち上げるもので、本人の要望にあわせた花火を打ち上げることや、メッセージの読み上げを行うことを返礼品として提供していく。また、寄付者が観覧する場合は観覧席の確保や弁当の提供を考えている。なお、寄付額は1口50万円としている。

【問】花火を含むおもてなしツアーにおける、さらなる宿泊場所の確保は。

【答】今年初めて実施し、10組32人の参加をいただいた。来年は15組～20組としたいと考えている。宿泊場所としては市の温泉施設を活用しており、今後も施設側と協議していきたい。

### ●移住・定住推進事業

【問】移住者が増加しているが、これは身内を頼って来ているものか、それとも広報活動によるものか。

【答】今年度の傾向としてはUターンが多い状況となっているが、相談会等で大仙市のブースに来られ、移住してきた方もいる。

### ●土地改良事業費等補助金関連

【問】杉沢・柳沢地区は一部の圃場でカドミウムの問題があるが、こういった対応をしていくのか。

【答】圃場整備の実施に当たっては、現在の汚染状況は、基準量に達していないが、カドミウムが出る圃場の土をほかには持っていかないこととしている。また、県からは、カドミウムを吸わない稲の開発が進んでいるとの情報もあり、今後の状況次第では圃場整備一体型で実施できる可能性も出てきている。今後、促進協議会の中で協議を行い、事業実施に向け計画を進めていきたい。

### ●創業支援事業費

【問】45歳以上は補助金申請の対象としないのか。

【答】45歳以上も対象としているが、若手の創業者を増やしたいということから、45歳未満は手厚い助成額となっている。

## 総務民生常任委員会

単行案5件、補正予算案1件、陳情2件を審査しました。

### ●大仙美郷環境事業組合解散関連

【問】大仙美郷環境事業組合が解散し、大曲仙北広域市町村圏組合の共同処理する事務に変更することにより、組合債未償還分の当市負担の増減や剰余金、施設等の将来構想はどうなるのか。

【答】組合債未償還分の増減はなく、剰余金は翌年度繰越金となる。また、施設等の将来構想は、広域化基本構想により方針を設定している。

### ●補正予算関連

【問】上淀川エコ対策コミュニティセンターを10年間使用できるように修繕して譲渡するとあるが、10年の根拠は何か、また、ほかに譲渡予定の建物があるのか。

【答】施設の耐用年数により10年としている。また、環境交通安全課では、ほかに譲渡予定施設はない。

※この質問に関連して「譲渡予定の建物の修繕も必要だが、公共施設の中には例えば太田中の屋根のように補修が遅れているものがある。今後も使用される公共施設の維持補修は時期を逃さずにやるべきだ」との意見が出されました。

### ●消費税引き上げ反対陳情

消費税10%への引き上げ反対を国に求める意見書採択の陳情は「個人消費、所得が改善されない中で2%引き上げると国民消費が一気に低下し、経済が悪化することは明らかであるので、採択すべきである」との意見と「消費という面では厳しいものもあるが、国の政策でもあり、10%に上げる必要があるのではないか」との意見があり、採決の結果、賛成少数により「不採択すべきもの」と決しました。

※議案はすべて原案可決し、陳情は1件採択、1件不採択としました。



## 建設水道常任委員会

条例案3件、単行案1件、補正予算案3件、決算認定2件、陳情1件を審査しました。

●議案第92号「損害賠償の額を定めることについて」は、市の職員が家屋の水道の栓を閉めることの確認を怠った事案で、漏水により家屋の損傷を招いたことで発生する補償額の適正さについて審査を行いました。質疑を交えた慎重な審査の結果、「原案のとおり可決」することに決定しました。

●陳情第11号「二ツ屋原野線の道路改良についての陳情」は、願意を妥当と認め「採択」することに決定しました。

審査に先立って、陳情者に立会いを求め、現地調査を行ったところ、陳情のあった市道の現況は幅員も狭く、また通学路でもあるため、道路改良が必要であることが認められました。

当局からは、「大仙市全域の整備水準の平準化と整備基準の統一化を図るために定めた『大仙市道路整備に関する指針』に基づくと、この路線は集落内道路に位置付けられるため、用地については補償の対象とならず、寄付扱いでお願いすることになる。路線全体の改良となると住民の負担も多くなることから、局部改良等で対応したい」との説明があり、これらを踏まえた上で「採択」と決定しました。



陳情現地調査

## 教育福祉常任委員会

単行案1件、補正予算案1件、決算認定1件、請願1件、陳情1件を審査しました。

### ●教育文化基金積立金

【問】国庫補助を受けて建設した校舎を有償貸与する場合、一定の期間、国の承認を得なければならないとのことだが、西仙北西中学校の貸与が継続した場合、その期間は何年残っているのか。

【答】鉄筋コンクリート造の場合、平成12年度までの補助金を使って建設した物については60年となっており、西仙北西中学校は34年経過しているため、残る期間は26年となっている。

### ●公民館管理費（文化プラザ管理費）

【問】平成31年度に予定されている太田文化プラザ改修工事は、どの程度の予算を見込んでいるのか。

【答】概算として、2億1千万円程度を予定している。

### ●指定文化財等保存整備事業費

【問】寄贈される鈴木空如の作品は、どこに保管する予定か。

【答】太田文化プラザに温度、湿度などの空調管理が整った美術品専門の収蔵庫があり、そちらで保管することになる。

### ●損害賠償の額を定めること

【問】損害賠償額のうち、修理費用が百何十万掛かっているが、どうしてそのように高額となっているのか。

【答】普通乗用車とは違い、フォークリフトという特殊車両のため、高額となっている。

※継続審査となっていた、中仙公民館鶯野分館体育館の改築に関する請願は、願意は認めるが、改築する場合、財政面、あるいは公共施設の管理計画との整合性などを考えると、早期の実現は困難であることから「趣旨採択」としました。

## 総務民生常任委員会



コンビニ証明書交付事業について学ぶ

7月24日～26日まで北海道石狩市、網走市、十勝広域圏廃棄物処理施設の視察を行いました。

### コンビニ証明書交付事業

石狩市は、証明書自動交付機の更新が必要なこと、ICTによる行政サービス充実、コンビニ交付事業の財政支援があることにより、平成29年2月からコンビニで住民票写、印鑑登録証明、所得証明書、納税証明、戸籍等を、マイナンバーカードを使って、コンビニのマルチコピー機を本人が操作し、交付を受ける事業を行っていました。利用実績は29年度は1,500部、今年度は2か月で325部、交付証明書は住民票、印鑑証明書が大部分で、利用は昼間が主で夜間や早朝もあった、利用年齢は30歳～60歳がほとんどだが、ほかの年齢層もいました。コンビニはほぼ市内利用でした。コスト問題はあるが、住民利便性の向上効果はあるとのことでした。社会のICT化が進む中、大仙市でも導入検討すべきと感じた調査でした。

このほかに網走市の複数年度予算編成と十勝広域圏の廃棄物処理施設を調査しましたが、紙面の関係で割愛します。  
(委員長 金谷道男 記)

## 企画産業常任委員会



公設コワーキングスペース

去る7月23日、日南市の地域資源マーケティング推進事業について研修。同事業は、人口減少や若者流出の歯止めおよび地域資源を生かした外貨獲得を目指すため、民間人を市の「マーケティング専門官」に登用し、民間団体が“手を組みやすい自治体”への変化に向けた挑戦が行われており、企業とのコラボ、市の知名度やブランディングの向上、IT関連企業の進出による雇用の創出、外貨獲得の取り組みを推進。

特徴的な取り組みとしては、全国で初めて文化財を公設コワーキングスペースとして開設したことや、企業合宿・起業家合宿の開催、公共施設の空きスペースを活用した企業支援施設の開設等。

また、人口流出予備軍を分析した結果から、若者の雇用吸収力が高い業種を誘致する取り組みにおいては、これまでIT企業を12社誘致し、105名を新規に雇用。今後3年で計302名を雇用する計画。

地域資源と企業の経営資源を活用し、一緒に事業を作っていける自治体を目指した取り組みは、持続可能な大仙市を展望する上で非常に参考となりました。

このほか、都城市のふるさと納税制度の活用、鹿児島市のグリーンファームを視察しましたが、ページの都合上割愛します。

(委員長 秩父博樹 記)



地域資源マーケティング推進事業について学ぶ

## 教育福祉常任委員会



小中学生への防災教育の研修

7月25日～27日まで熊本県熊本市、鹿児島県霧島市の視察を行いました。

熊本市では、熊本地震と小中学生への防災教育について研修しました。熊本地震後に防災教育年間指導計画を作成、災害対策副読本「つなぐ」を作成して小中学校へ配布し各学校で教材として利用し学習していました。地震、水害、火災、不審者などの避難訓練を実施しており、シェイクアウトとその後の避難所や避難場所への避難と、児童を保護者まで引き渡す訓練を行っていました。加えて学校では、材料を市や各団体から提供していただき、教材として防災ずきんを作成していました。また、毎月16日を防災の日として防災教育や避難訓練を毎月行い、毎年1月23日には防災訓練を実施していました。

大仙市、各学校でもやれる、やらなければならない防災教育や避難訓練、防災の日などを決めて訓練を行う必要性を感じました。

このほかに、鹿児島県霧島市で霧島市健康マイレージ事業についてを調査しましたが、紙面の関係で割愛します。

(委員長 小松栄治 記)

## 議会のひとしご

7月

- 6日 会派代表者会議
- 広報広聴常任委員会
- 議員説明会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務民生常任委員会
- 「所管事務調査」
- 17日 第3回臨時会
- 企画産業常任委員会審査
- 教育福祉常任委員会審査
- 会派代表者会議
- 広報広聴常任委員会
- 23日 企画産業常任委員会
- 「行政視察」(～25日)
- 24日 総務民生常任委員会
- 「行政視察」(～26日)
- 25日 教育福祉常任委員会
- 「行政視察」(～27日)
- 31日 議会運営委員会
- 大仙市・仙北市・美郷町議会
- 議員交流会

8月

- 6日 第4回臨時会
- 教育福祉常任委員会審査
- 議会改革推進会議
- 21日 教育福祉常任委員会
- 「所管事務調査」
- 23日 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会
- 24日 企画産業常任委員会
- 「所管事務調査」

28日

- 会派代表者会議
- 第3回定例会(第1日)
- 議員全員協議会

9月

- 6日 第3回定例会(第2日)
- 議会運営委員会
- 7日 第3回定例会(第3日)
- 決算特別委員会・同委員会正副分科会長会議
- 議会改革推進会議
- 10日 各常任委員会審査・各常任委員会協議会(教育福祉除く)
- 教育福祉常任委員会
- 「所管事務調査」
- 13日 議会運営委員会
- 18日 第3回定例会(第4日)
- 大仙市議会議員研修会
- 25日 広報広聴常任委員会



大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会

## 市政懇談会でいただいたご意見・ご要望の回答について

6月25日から29日までに開催した、大仙市議会「市政懇談会」の回答についてお知らせいたします。その他いただいたご要望等については、各常任委員会で協議し、市長へも文書で通知いたします。たくさんのご意見ありがとうございました。

また、市民の皆様から開催のご要望があれば、いつでも皆様のところへ出向きますので、お知らせください。

No.	地域	いただいたご意見	回 答	
1	南 外 地 域	赤平集会所の譲渡を受けたが、これから維持管理費がかかる。今後、10年後を考えたとき、市の補助金をお願いしていきたい。	譲渡する前に修繕等してお渡ししており、譲渡後は、各地域で考えて利用していただきたい。	
2		公共交通を利用している人が少ないし、乗合タクシーの利用者も少ない。	公共交通のあり方について、現在、見直しをしており、これからアンケートが出るので、そのアンケートに意見を書いてほしい。	
3		議員定数等について、議会で検討しているものか。定数は28人だと思っているが、議員の報酬は理解できる程度に減額してはどうか。	改選の度に見直しすることとなり、議会改革推進会議で検討していく。	
4		政務活動費の可視化について、個々の使い道や領収書の公開はどうなっているのか。	政務活動費は会派に支給している。領収書については、間もなくインターネットで公開する。	
5		オンブズマン制度連絡会に参加しているか。透明性を図るために加入したらどうか。	行政側に伝え、協議していく。	
6		「買い物拠点」小さな拠点形成事業について、場所や事業主体について決まっているのか。 (特定の人に有利にならないように頼む。)	場所や事業主体はまだ決まっていない。この後、検討委員会から実行委員会に切り替えて詰めていく。	
7		洪水により集落が孤立する。対応願いたい。	楢岡川の改修には3～4年かかる。早期完成を県に要望していく。	
8		20代で農業につきたい人が多くいる。こうした若者を育てる指導方法はなにか。	新規就農センターがあるのでそれを活用願いたい。また、補助制度もあるので活用願いたい。	
9	大曲 地域 (はびねす 大仙・内小 友・角間川)	大花団地内の下水道(側溝)整備についてどうなっているのか。	現在、工事を発注をしているので近々工事に入る。	
10		みまもり隊が怪我をした場合の保険等を市で対応できないか。	委員会等で協議していく。	
11		移住定住だけでなく、一般職員も大仙市に住む人を優先に採用してほしい。	成績の都合もあるが、なるべく優先していると思う。高卒、専門職も採用しているので幅が広がった。	
12		消防団員少なくなってきた。	市としても努力していく。	
13		道路側溝の落ち葉等の清掃について、時季を選んで点検、管理してほしい。	巡回はしているが、気づいた場所があれば報告してほしい。	
14		内小友小学校と大川西根小学校の統廃合計画はあるか。	地元からの要望がない限りない。	
15		角間川に下水道がこないことになり、浄化槽で対応しなければならない。そうすれば、今のおそまつな側溝を整備してほしい。	他の方々と地元の総意を陳情として出したらどうか。	
16		神 岡 地 域	農家の後継者が育つ農業の仕組みを行政として支援してほしい。	他の市町村よりは手厚く支援している。スピードは遅いかもかもしれないが、着実に前進してきていると思う。
17			避難場所の確保・明示をきちんとしてほしい	ハザードマップも配布しており、災害の種類によって避難場所も違う。通路・経路も含めて示していきたい。
18			官民一体となってお金を稼げるまちづくりをしていただきたい。花火伝統文化継承資料館もお金をとっていいのでは。	委員会等で協議していく。
19	中 仙 地 域	ごみ処理場を利用する際の使用料について、どれくらいになるのか。	大仙美郷・仙北市のごみ処理場の合併が計画されており、この後、皆様の意見を聞きながら進めていく。料金まではまだ決まっていない。	
20		下水道の加入率はどれくらいか。	加入率は50%以下となっている状況である。中仙地域では、下水道工事は実施しない方向であり、合併浄化槽に補助金を出して進めることになっている。	
21		町内会費について、地区内にアパートがあり、アパートの住民は町内会に入っていないし町内会費もいただいていないが、地域の一員として入会の指導をお願いできないか。	町内会に入る入らないは強制でないので行政では把握していない。町内会で把握しているものと思うが、行政から入会を勧めることは難しい。	
22		中仙地域で町内会に入っていない人は何人くらいか。		



No.	地域	いただいたご意見	回 答
23	中仙地域	街灯・防犯灯の設置について、どう申請すればよいか。	防犯灯と街灯では担当が違うが、要望があるとすれば支所に相談していただきたい。
24		地域創生について、大曲の花火以外に各地域の伝統芸能もあるので施策を考えてはどうか。	外から見た大仙市は、「大曲の花火」が一番知名度が高い。大曲の花火で地方の産業も活性化する。 (松炭を例に説明)
25	西仙北地域	我々の地域はこれからどうなっていくのか。議員提案の施策として、何か提言してくれているか。	各地の商店街へのアンケートを実施し施策を提言。公共施設の規模や維持管理費を考えた施策の提言。コンパクトシティ街づくりを進める。立地適正化計画の適切な実施。
26		議員の行政視察は、行政に反映されているか。	それぞれの目的をもって行政視察を行っている。 (一般質問など) 議会活動には反映されていると思っているが、これからも努力する。
27		加賀戸橋の災害復旧は原形復旧なのか。西仙北高校が定員割れしているが対策は。	加賀戸橋の災害復旧は原形復旧で、早期完成に向けて努力している。西仙北高校の理事会・役員会で協議している。
28		公民館は避難場所として検討しているか。鉄筋コンクリート二階建てを希望する。	基本設計の説明会があったが、また説明会を行う。
29		5/18.19の大雨で水田が壊れ流された。どうしたらよいか。	共済もあるが、市では、災害補助金もある。昨年の災害と同様に対応する。作付け継続であれば35%で対応する。
30		イベントをやろうとしても少人数のため予算を回してもらえない。	地域枠予算を使ってほしい。
31	協和地域	空き家問題。上から崩れている。小動物の住みかとなっている。	将来的にも空き家は増えてくる。空き家バンクに登録して対応しており、危険なものについては協議したい。支所と連携してほしい。
32		大曲の花火等の来客者を大仙市内の観光につなげてほしい。	唐松や払田の史跡等、いろいろあるので、各施設の紹介等、取り組んでいきたい。
33	域	農業法人の後継者がいない。俸給などしっかりできるよう会社運営にしてはどうか。	収益が上がる方法を市と一緒に考えていく。
34		除雪(間口除雪)について、独り生活者への対応は?	11月くらいの申請で行う。便宜を図ってほしい。
35		災害地を会派問わず皆で視察してほしい。	要望に応えたいと思う。
36		学校問題について、今は複式学級もあり、学校を統合するとか小中学校を一緒にするとか、住民アンケートを取って見たらどうか。	子供にとって、良い環境で教育を受けるために統合もありうるので、検討したい。
37		防災対策について、市から支給された備蓄品を置く場所に苦労している。北部センターのステージ奥に置いているが、いざと言うとき出しにくい。置き場所を考えてくれないか。	他地域でも同じ要望があった。ただ支給すればいいのではなく、保管場所について市当局に伺う。
38	太田地域	地域公共交通について、利用しづらいから利用者が少ない。また、利用者がバス停まで行けない場合もある。中仙地域の乗車率が良いのはバス停の前後で止まったり、小学生や角館高校生が乗車しているからではないか。太田地域もスクールバス的な使い方など工夫できないか。	乗る努力をしなければコミュニティバスは守れない。自家用車のバス利用ではなく、バス時間に合わせて生活することも必要。大仙市全体の公共交通については、今年度見直しをかけるので、併せて検討する。
39	域	歩いてバス停に行けない。自転車に乗ってバス停に行っても、その自転車を置く場所がない。乗降所を考えてほしい。またバス運賃も高いので考えてほしい。	太田地域をバスだけでカバーするのは難しい。乗合タクシーを併用して利用するしかない。免許返納者へのタクシー補助券は100枚しかなく、使い切った後の利用分についても検討しなければならない。
40		地方創生事業に関して、花火以外もあるのではないかと。ほかにあれば教えてほしい。	花火は全国的に知名度が高い。それを生かして、各地域の力を最大限に引き出していかなければならない。箱モノを作るだけでなく、目に見えない人づくりもある。いぶりがっこのブランド化にも挑戦している。
41		太田中学校の体育館の屋根改修を早くやってほしい。	お願いしているが、工事の順番を待っている状態である。
42	仙北地域	放課後児童クラブについて、特に高梨の児童クラブが手狭である。大曲地域だと小部屋があって体育館があったりする。もっと遊べるスペースがほしい。	委員会等で協議していく。
43		熊が出没した場合の対応の仕方について教えて欲しい。	熊がでたら、すぐに支所に連絡していただき、支所では広報車や防災無線で呼びかける。



# 市民の声

合併も10年以上経過し、市政運営について市役所職員や、市議会議員の皆さんの努力により順調に推移していることに対して敬意を表するものである。

本年6月の「秋田魁新報」によると、市長は「地方交付税が減り続けるなかで財政健全化を進めるため、全ての事業を点検する」とある。結構なことである。私は、以前から市の財政状況について懸念を持っている一人である。特に公債費比率が2014年度指標で

は、将来負担比率は県内で小坂町に次いで2番目に高いと報道されていた。その後の努力により、かなり改善されているとはいえ高水準である。

前回の「市政懇談会」でこの点を指摘し、外部の公認会計士を入れ三セクなど含めた点検の必要性について質問したところであった。今回の「市政懇談会」で同様の質問をしたところ、ある議員によれば、当局に提案したが一蹴されたとのことだった。大変残念なことと思った。「市議会だより第52号」の「先進地に学ぶ」で国立市の訪問報告があった。その中で

「①事業評価はかせない②質の向上と活用促進の必要性」を述べている。秋田県では、三セクや県有財産について東京の公認会計士による評価を実施し、公表している例もある。「同だより第53号」後記によれば「従来のやり方をひっくり返すほどの、大胆な取り組みが必要」とある。

身内だけの評価だけでなく、外部の評価を入れることにより、なお一層の改善につながるのではないかと思う。次回の「市政懇談会」では、どのような回答となるのだろうか。

(角間川地区 大友康夫)

## 12月定例会日程のお知らせ

- 11月27日(火) 本会議第1日 (市政報告、議案等上程)
  - 12月6日(木) 本会議第2日 (一般質問)
  - 12月7日(金) 本会議第3日 (一般質問・議案質疑、委員会付託)
  - 12月10日(月)・11日(火) 常任委員会審査
  - 12月17日(月) 本会議第4日 (委員長報告、質疑、討論、表決)
- ※現時点での予定であり、変更される場合があります。変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

## 決算特別委員会審査日程

- 11月5日(月) 全体会 (審査方法、日程等の確認) 分科会審査
- 11月6日(火) 分科会審査
- 11月7日(水) 分科会審査
- 11月8日(木) 分科会審査・事務調整
- 11月9日(金) 全体会 (分科会会長報告、全体審査)

## 議長交際費 (7月1日~9月30日)

項目	件数	金額
予算額		900,000円
既支出額	31件	132,116円
今回支出額	33件	346,895円
内訳	弔慰	1件 10,000円
	慶祝	15件 136,000円
	協賛	17件 200,895円
予算残額		420,989円

議会事務局では直通電話(0187-63-5030)を設置しました。どうぞご利用下さい。

## 編集後記

猛暑が続く中、高校野球の甲子園100回を記念する大会での金足農業高校の大活躍に、みんなが沸き沸いた夏となりました。特に農業県でもある大仙市では、このたびの定例議会での質問者数名が触れておられたように、勇気をもらった夏でもありました。

一方、大阪北部地震や西日本豪雨に続き、台風21号そして北海道地震という異常災害が続いています。まさに災害列島の感があります。当市の防災危機管理監が「日本に安全な所がないと認識しなければならぬ」と述べている言葉がさらに重くひびきます。

例えば、大仙市では地震のとき「姿勢を低くする」「頭を守る」「動かない」など示しており、それは最低限の個人の身を守る指針の一つであるが、そのほかにどんな災害があるかを官民挙げてしっかりと考えておく必要があると思います。

近頃はあまりにも想定外の災害が頻発しているからであります。

(委員 佐藤 隆盛 記)

### 広報広聴常任委員会

- 委員長 後藤 健
- 副委員長 高橋 徳久
- 委員 小笠原昌作
- 委員 佐藤 隆盛
- 委員 佐藤 利恵
- 委員 佐藤 文子
- 委員 小山 緑郎
- 委員 佐藤 育男
- 委員 古谷 武美
- 委員 橋村 誠

